

# 会 長 方 針

2004～2005年度 クラブテーマ

分かち合おう、ロータリーの心

広めよう、ロータリーの心



会 長 金 丸 清 泰  
幹 事 伊 藤 良 三

本年ロータリー100周年の節目の年に会長の職をお引き受けする運びとなりましたが、会員の皆様のご支援ご協力をいただきながら、クラブテーマに沿ったクラブ運営ができますよう、微力ながら務めたいと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。

さて、本年度RI会長 グレン E. エステス・シニア氏は2004～2005年度RIテーマを「ロータリーを祝おうー100年の歩みー」とし、166ヶ国120万人の会員が一世紀にわたる成長と拡大を祝い又、過去の成功の自己満足でなく、現在の困難への新たな危機感を持ってロータリーを祝おうと呼びかけられ、強調事項として「貧困、飢餓、環境、保健、非識字」の5点を挙げられました。

RI・D2750ガバナー仲田順和氏は、6つの地区重点課題10の地区重点目標（ガバナー挨拶P.6参照）を掲げられ、「来るべき『奉仕の二世紀』への第一歩を踏み出しましょう」と呼びかけております。

今年度、クラブテーマを「分かち合おう、ロータリーの心・広めよう、ロータリーの心」とさせていただきます。

会員一人一人がお持ちのロータリーの心（思い入れ、心情、信念、知識等）を互いに分かち合うことによりクラブ運営の活性化が図られるものと考えます。

次に家庭、ロータリー家族、友人、職場、地

域社会、国際社会に会員の方々が、そしてクラブが家族、増強、広報、職業、社会、国際、新世代の各委員会活動を通じてあらゆる機会にロータリーの心を広めようではありませんか。

その実戦として仲田ガバナーの提唱された重点目標の一つである国際ロータリー100周年記念1人1奉仕運動は、またとない機会と考えております。

以上をふまえて、

1. 例会の活性化のためホームクラブ出席10パーセントの向上を目指す
2. 炉辺会合の活用、その他趣味の会への参加の促進支援
3. 会員情報の共有化
4. 地区出向者及び委員長会議等による地区情報の共有化
5. 1人1奉仕活動の100パーセント実施
6. 各種奉仕活動は会員全員参加型のものとする